

子どもの食物アレルギー編

市民病院の医師が
皆さんの悩みに答えます！

市民病院で皆さんから寄せられる
病気の質問に医師が答えます。

問い合わせ
市民病院管理課
(☎5710052)

Q. アレルギー疾患になると
どんな治療をするの？

A. 食物アレルギーやその他アレルギー疾患、アナフィラキシーに悩まされる子どもは、年々増加しています。*アレルギーマーチを食い止めるために、なるべく早く専門医を受診する必要があります。問診や血液検査、食物経口負荷試験、栄養指導を行い、必要最小限の食物除去をし、食べられる食物を増やしていくための検査や治療を実施します。

Q. 市民病院では
どんなことができるの？

A. 市民病院は、県内で数少ない日本アレルギー学会専門医教育研修施設に認定されており、食物アレルギーを中心に全てのアレルギー疾患に対して正しい診断に基づいた診療を行っています。

ポイント

- ・3人の小児アレルギー専門医
- ・専門資格を有する看護師、管理栄養士
- ・日帰り入院で食物経口負荷試験
- ・経口負荷試験は年間300件程の実績



小児アレルギー専門医
小林貴江

子どもたちが、不安を抱えることなく、「どんな食べ物も怖くない」と楽しい食生活を送ることができるようになることが私たちの願いです。「どうせ食べられないし」と諦めることなく、

小児アレルギー外来の扉を開いてください。患者さんに応じて最適な治療法を検討し、地域の全ての子どもたちが安心して食生活を送ることができるよう最大限サポートします。

過多月経編

Q. 過多月経ってどんな症状？
何が原因なの？

A. 月経の正常範囲の出血量は20〜140mlです。それ以上が過多月経です。レバーのような塊が出たり、ナプキンが1時間も持たないなどがあり、貧血や息切れ、動悸、疲れやすさにつながります。子宮筋腫や子宮腺筋症、子宮内膜ポリープなどの病気が原因で起こります。

Q. 市民病院では
どんなことができるの？

A. 市民病院では、尾張地方で唯一、腹部を切らないマイクログ波子宮内膜アブレーション手術(MEA)ができます。この方法ですと、腹部を切らずに、子宮も残せて、手術時間は数十分、入院は2日間ですぐに日常生活に復帰することができます。



産婦人科部長
伊藤 充彰

手術を回避したために、過多月経を我慢している女性は少なくありません。当院では一人一人の症状に合わせてどの治療が適切かわかり見極め、月経と付き合っていく手伝いをしています。